

明日の家族を考える会 会報



第26号

2011年7月

・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絃一 ・事務局長 中村厚子
・発行責任者・編集人 羽賀絃一 ・毎月1回発行
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

7月度幹事会

○日時 2011. 7. 28 (木)

19:00~21:30

○場所 中村邸

○出席者確認 (敬称略) 大脇、河村、中村、羽賀、榎本、三木、宮本、守上、山本
以上9名

○報告事項

*事務局報告

1. 平成23年度総会議事録と会報第24号(2011年5月)、第25号(2011年6月)を郵送した。
2. ウィザス協議会総会7月1日(金)報告(代理出席:守上会員)
 - ・当会は、平成23年度も継続して幹事団体であること。
 - ・定例会(毎月1日)が土日の場合は翌週の月曜日に開催する。
 - ・登録団体の退会と追加情報





・登録団体の「芦屋広報」への掲載記事は、ウィザス協議会事務局経由で依頼すること。

3. 相談用携帯電話の契約を見直し、基本料金の安い契約に変更した。

4. 河村会員の受賞(国際ソロプチミスト神戸東のクローバー賞)の報告

*会計報告・・河村担当

新年度の会費納入状況の報告

*HP報告・・大脇担当

特になし

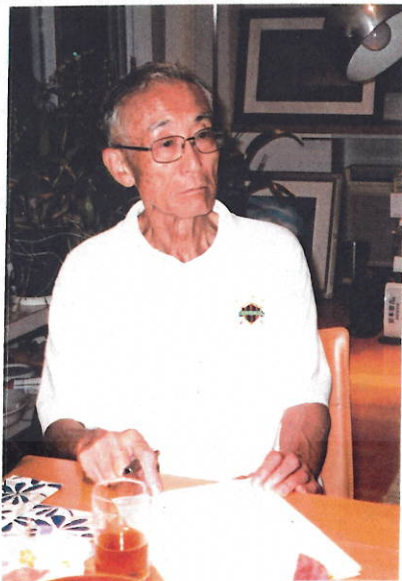
*カルガモクラブ、バンビグループ、まちの寺子屋報告・・河村担当

・カルガモクラブの会場変更・・本年10月から西蔵集会所より打出集会所に変更する予定である。

・子育て支援事業の追加開設

今年度7月より第1・第3火曜日13:00から神戸大学サテライト施設のびやかスペース「あーち」(神戸大学大学院総合人間科学研究所ヒューマン・コミュニティ創成研究センター内)

対象:就園前の幼児、担当:河村会員



三木さん



守上さん



河村さん



中村さん



宮本さん



羽賀さん

- ・まちの寺子屋 夏休みシリーズ の実施案内 於前田集会所
 - 7月29日(金) 13:00~15:30
 - 8月5日(金) 13:30~15:30
 - 8月19日(金) 13:30~15:30
 - 8月26日(金) 13:30~15:30

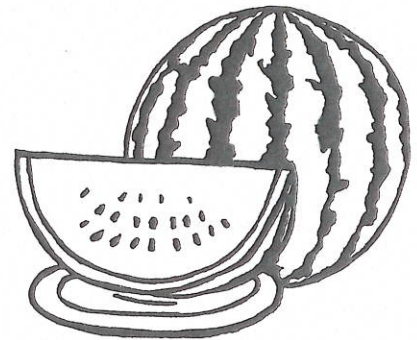
・手作りおもちゃの試作実習

○審議事項

1. 第11回公開学習会の開催要領について

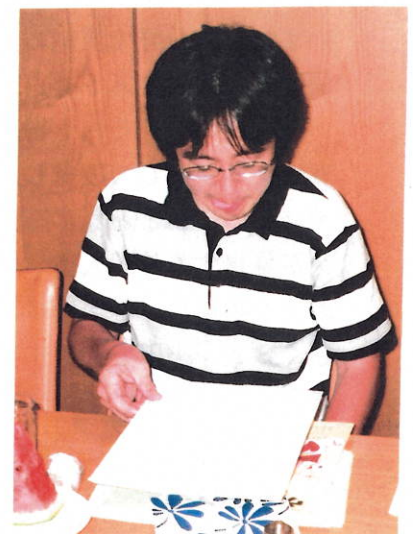
- ・日程: 10月15日(土) ・会場: 芦屋医師会館 ・テーマ: 子育て支援「わくわく親子体操塾」 ・講師: 榎本英樹氏 ・対象: 親子50組程度

今後の準備: 会場設営(前回と同様ブルーシートを敷く)、受け付け方式の確定、医師会館との交渉、チラシの作成、タレ幕の作成、芦屋広報への記事掲載依頼などの広報活動



"コケッココー"と鳴くおもちゃの試作
すっかり気に入りました!

山本さん 榎本さん



大脇さん

2. 第12回公開学習会の開催予定

タイトル：中国少数民族シリーズ(仮題)として、例年通り2012年3月に開催される「ウイザスフェスタ2012」のワークショッププログラムに参加する予定である。

3. グループ「マミーズパワー」の紹介(山本会員)

当会の子育て支援事業との協力関係の可能性を審議

4. 今後の幹事会の開催について

原則として奇数月(1・3・5・7・9・11月)と6月総会、12月忘年会を行い、年間8回開催するものとする。ただし、必要な場合は上記の日程に関わらず臨時に開催する。

○卓話：「私の健康法」 宮本会員

「筋肉を強化する目的で歩くこと」

○次回幹事会

2011年9月29日(木)

19:00～中村邸

*注) 8月度幹事会は休会です。



河村 照子会員国際ソロプチミスト神戸東「クローバー賞」を受賞

＝おめでとうございます＝

2011年7月21日(木) 国際ソロプチミスト神戸東の例会において、河村 照子さんが「クローバー賞」を受賞され、表彰されました。

「クローバー賞」は、兵庫県下の文化、教育、福祉、環境のいずれかの分野で貢献のあった個人か団体を表彰するもので国際ソロプチミスト神戸東の主要事業の1つになっています。

国際ソロプチミスト神戸東は1984年に日本で146番目のクラブとして設立し、兵庫県、大阪市をテリトリーとし、地域への活動とともに国際的な活動としては、日本中央リジョンが募集する外国人留学生奨学金に地域在住の女子留学生を推薦する事業や、エチオピア・ゴザ地域の診療所で看護師として働くSr. 小田を支援する活動を展開している。

また、ドイツ・マインツやイスラエル、台南など世界各国の7つの姉妹クラブを締結して国際交流を行っている。



○子育て支援活動

のびやかスペース「あーち」開設

7月より第1、第3火曜日13:00~15:30河村さん担当

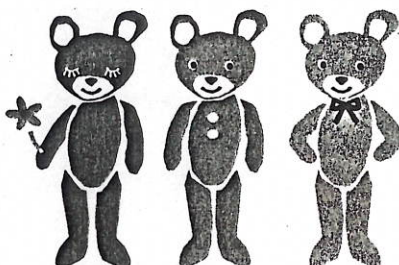
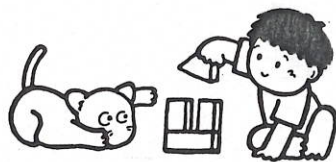
神戸大学大学院人間発達環境学研究科、ヒューマンコミュニティ創成研究センター・サテライト施設です。のびやかスペース「あーち」は、午前10:00~16:00まで一日開かれており、希望によって昼食も食べられるようになっています。

その内、13:00~15:30を当会河村さんが担当されます。

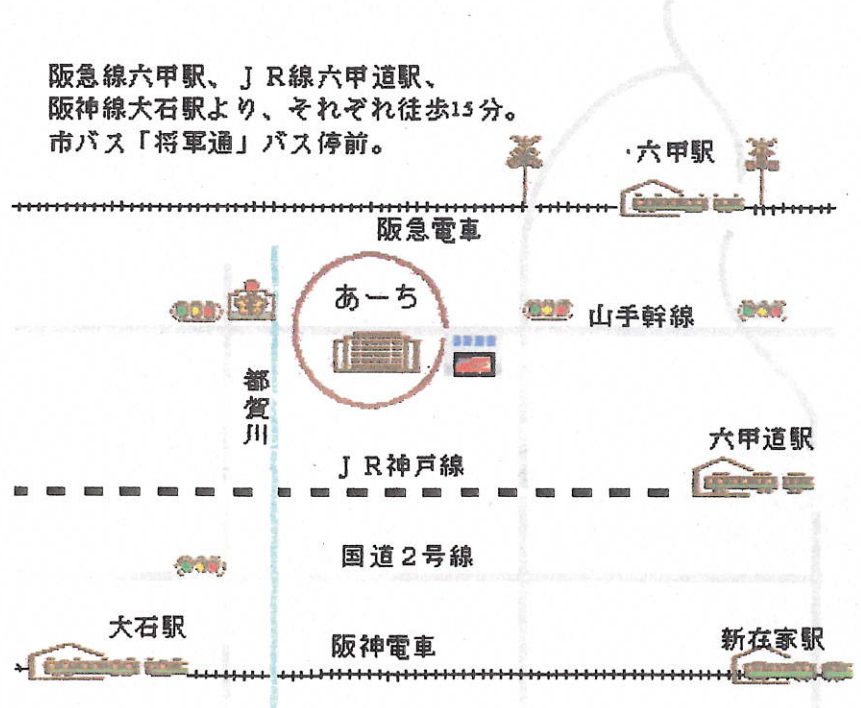
7月15日(火)は、15組の親子が参加、7月19日(火)も15組の親子が参加されました。みなさんぜひ一度行ってください。



至神戸大学



阪急線六甲駅、JR線六甲道駅、
阪神線大石駅より、それぞれ徒歩15分。
市バス「将軍通」バス停前。



○7月の子育て支援活動

*カルガモクラブ 河村さん担当

第2・第4木曜日10:00~11:30

西蔵集会所

0歳~よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。子育て仲間を作って育児を楽しみます。



7月14日(木)は、**3組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、本日はありませんでした。

28日(木)は、**5組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、辻原さん、徳田さん





ゴシゴシ、ジャブジャブ・・・洗濯をしています



*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00~11:30 打出集会所

1歳~3歳の親子が対象

7月12日(火)は、**13組の親子**(その内子どもは17名)が参加されました。参加ボランティアは、徳田さん

7月26日(火)は、**11組の親子**(その内子どもは16名)が参加されました。参加ボランティアは、徳田さん





県民交流広場事業

夏休み第1回目



・・・河村さん担当

7月29日(金) 13:00~15:30前田集会所にて

=いろいろなおもちゃ作り=

幼稚園児、小学生の子どもたちが夏休みに入りました。夏休みは4回に渡って「おもちゃ作り」、「からくりこま回し」、「映画会」、「おはなしの会」を計画しています。

今日はその第1回目ですが、**18名**(男の子5名、女の子13名)のたくさんの参加があり、洋室Bで、にぎやかにいろいろなおもちゃ作りを楽しみました。

「パクパクドラえもん作り」、「ストロートンボ」、「どんぐりでトトロ作り」、「折り紙でコマ作り」、「にわたりの鳴き声が出る紙コップを使ったおもちゃ作り」、等々。

また、小学生は「おはなし迷路」で遊び、最後は河村さんの紙芝居「ポテトサラダのすきな王様」を楽しみました。

今日は芦屋短期大学の卒業生佐野様がお手伝いに来ていただきました。またアーチの頼田様が見学に来られました。



河村さんの指導で折り紙を折っています



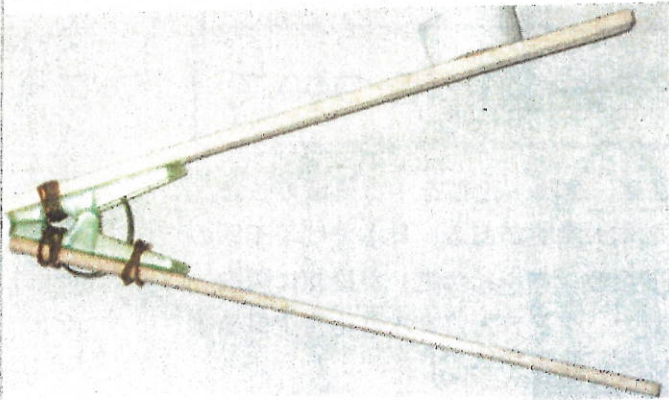
折り紙で「コマ」を作っています



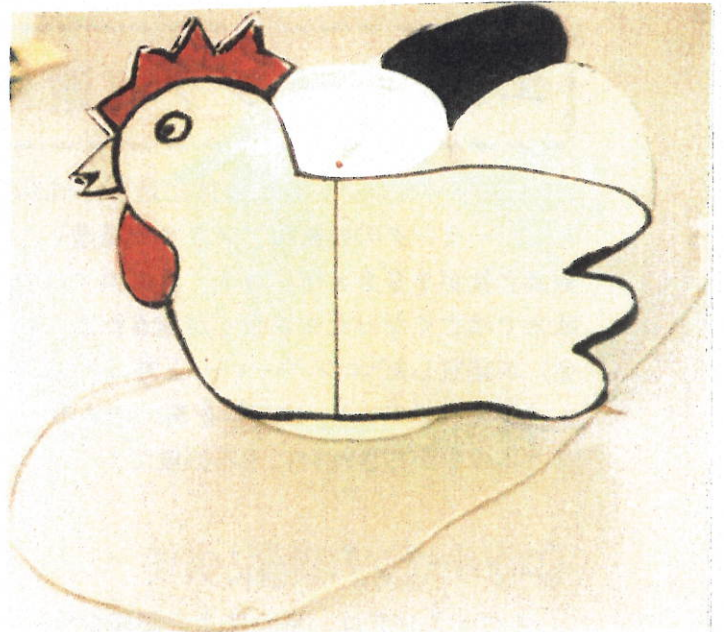


紙芝居「ポテトサラダのすきな王様」

今日の作品です



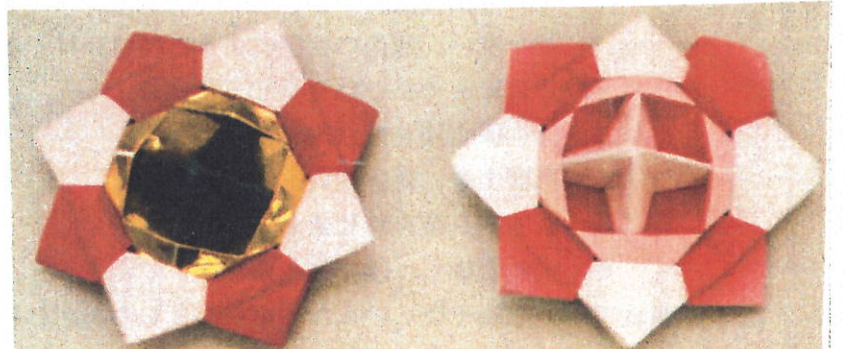
飛び道具



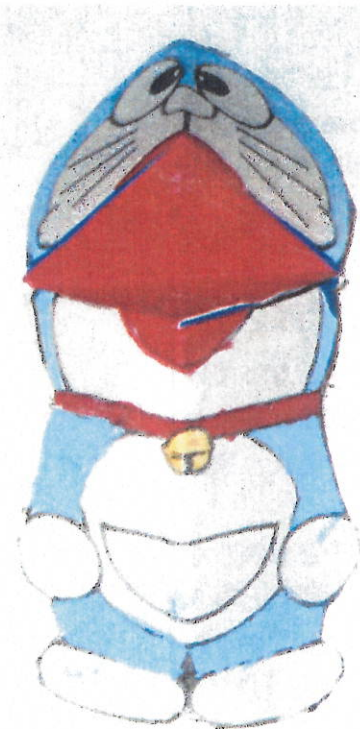
コケッコーと鳴くおもちゃ



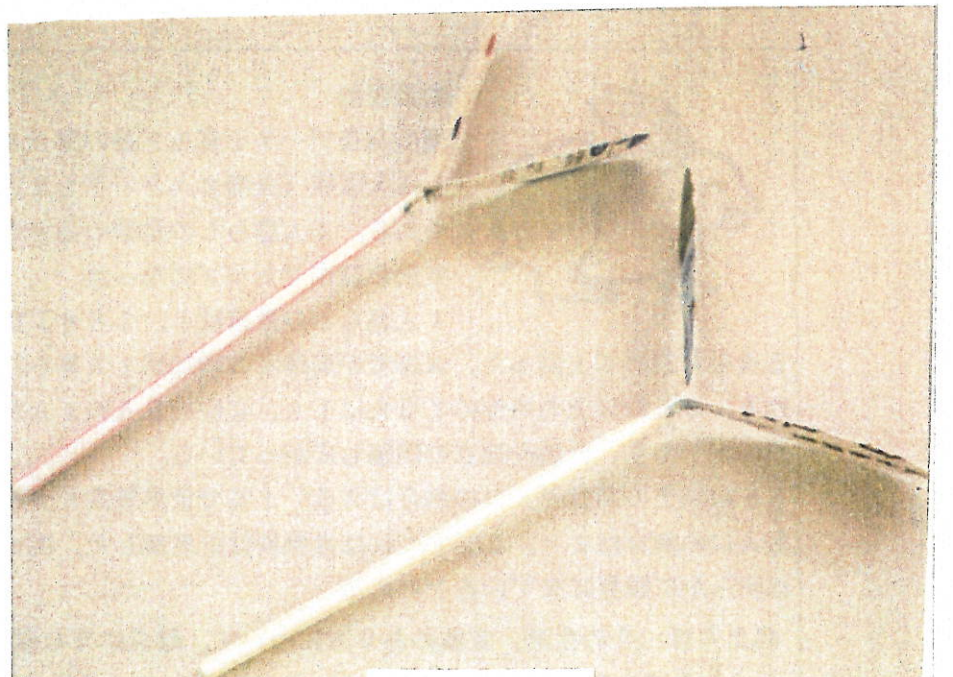
ドングリで作ったトトロ



コマ



パクパクドラえもん



ストロートンボ

= 知っておきたい知識 =



エンバーミング (遺体衛生保全) について

「エンバーミング」とは遺体に対して消毒殺菌・防腐・修復・化粧をする処置のこと。エンバーミングの技術はアメリカで発達し、約150年の歴史がある。日本では埼玉県葬儀会社が1988年に導入、兵庫県では明石の葬儀会社「タルイ会館」が最初に開設。欧米では亡くなった方の多くが施される一般的な処置で、IFSA(日本遺体衛生保全協会)が認定した「エンパーマー」と呼ばれる技術者が処置を行う。

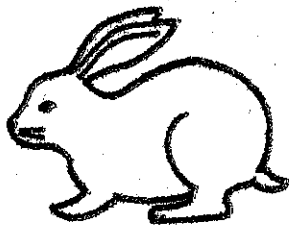
「湯灌(ゆかん)」は遺体を洗い清めるといふ儀式性の高い処置ですが、エンバーミングは体の中からきれいにする処置です。

○エンバーミングの処置について

エンパーミングは、感染防止の設備が整ったエンパーミングセンターで行われ、手順は以下の通りです。

1. 全身を消毒液で拭き、清潔にします。
髪を洗い、遺族の要望によっては口ひげ、あごひげを剃ります。
2. 要望により目と口を閉じます。
3. 衛生保全液をを注入します。
4. 再度全身、髪を洗います。
5. 希望の衣装を着せます。
6. 化粧を施し、顔を整えます。

最近では、家族や親しい人たちを中心としたお別れのスタイルが多くなってきており、エンパーミングをされる遺体は増えつつある。エンパーミングをした遺体は、生前の元気な頃の面影に近い状態になると言われている。



編集後記

国勢調査データを見ると長い間日本の標準モデルとなっていた4人家族(夫婦2人と子ども2人)という家族像は崩れつつある。1人暮らしの世帯の割合が初めて3割を超え、家族型別の調査でトップになった。

1人暮らしの世帯は1,588万世帯で夫婦と子どもからなる世帯を初めて上回った。未婚者や高齢者の増加が1人暮らし世帯を押し上げたとみられる。65歳以上の男性の10人に1人、女性の5人に1人が1人暮らしをしているのが現状であり、介護や孤立の問題も広がっている。

65歳以上の高齢者人口の割合は23.1%で世界最高を更新、また15歳未満の子ども人口の割合は13.2%でこれは世界最低を更新した。現役世代頼みの社会保障制度は明らかに限界に来ているといえる。

私たちは、今の生活、家族のあり方について、原点に立ち返って見つめ直す必要がある。まずは自分の家族のあり方は、これで良いのか考えてみましょう。(羽賀)